

奥尻町教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の
点 検 及 び 評 価 報 告 書
(令和5年度)

奥尻町教育委員会

令和5年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

| 番号 | 事業名 | 事業内容 | 事業費 | 備考 | 自己評価 | 外部評価 |
|----|---|--|-------|---|------|------|
| 1 | 奥尻町いじめ不登校対策等委員会 奥尻町いじめ根絶子ども会議 | 奥尻町内における、いじめ不登校等の問題行動や生徒指導上の課題の解決に向け、各学校の取組状況や実態把握、情報交換、協議等を通じて、関係機関等が密接な連携・推進を図る。毎年1回各小中学校・高校と共同で実施。 | 0 | | A | A |
| 2 | 奥尻町特別支援教育連絡協議会 | 奥尻町立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校において、特別な教育的支援を必要とする子どもに、適切かつ効果的・効率的な指導を推進する。毎年2回開催。 | 0 | | B | B |
| 3 | 「北海道教育の日」協賛事業 教育委員会学校視察 | 「家庭、学校、地域社会及び行政が一体となって、教育に関する理解と関心を高めるための様々な取組を展開することによって、全ての道民が子どもたちの教育について考え、語り合い、行動する契機とする」という北海道教育の日の趣旨に協賛し、毎年1回教育委員により実施している。 | 0 | | B | B |
| 4 | 預かり保育 | 住民のニーズに沿うよう、保育時間外(午前8時15分から8時30分、午後2時から6時)預かり保育を実施している。平成26年10月より青苗幼稚園においても実施している。 令和元年10月1日から幼児教育・保育の無償化、11月1日から朝の預かり保育を実施。 | 4,273 | 臨時職員賃金、消耗品費 | B | B |
| 5 | 奨学資金の貸付 | 奥尻町に在住する者の子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学する者あるいは現に在学する優秀な生徒並びに学生で経済的理由により、就学困難な者に対し、奨学資金の貸付けをもって有用な人材を育成することを目的とする。 | 6,480 | | B | B |
| 6 | 奥尻町校外生活指導連絡協議会運営事業 | 奥尻町の将来を背負う若者の健やかな成長のため、小中高、保護者、地域間の協力を目指す。 | 96 | | D | D |
| 7 | 奥尻町教育団体連合会運営事業 | 奥尻町へき地複式教育研究連盟、奥尻町特別支援学級教育研究会、奥尻町教育推進協議会の教育団体に対し助成を行う。町内小中学校の教育活動を補助する各種団体の円滑な運営を目的とする。 | 353 | 奥尻町教育推進協議会補助金190千円 特別支援学級教育研究会補助金113千円 へき地複式教育研究連盟補助金50千円 | B | B |
| 8 | 小学校社会科副読本製作事業 | 町内の児童が小学校で使用する副読本の内容を改訂し、郷土教育の充実を図る。 | 29 | 軽微な内容修正・増刷費 | B | B |
| 9 | 学習支援ツール(スタディサプリ)導入事業 | 生徒の学習の際に使用できるツールの使用料を補助することで、教育の質の向上を図る。 | 228 | 一人当たり年額6,000円 | B | B |
| 10 | 奥尻町立中学校檜山中体連陸上・各球技大会出場事業 中体連卓球全道大会出場事業 | 体育系の部活動を野球部・女子バレー部・卓球部と3部設置しており、毎年7月に開催される檜山中体連球技大会に参加している。※陸上部はないが、陸上出場選手もいるので参加費等を助成している。 | 504 | 陸上18名 野球13名 卓球7名 バレー4名 卓球全道1名 | B | B |
| 11 | 奥尻町立中学校吹奏楽部函館地区コンクール出場事業 | 文化系活動として吹奏楽部があり、練習活動に励んでいるところであるが、加盟団体である北海道吹奏楽連盟主催の函館地区コンクールが開催されるので、日頃の練習の成果を試すとともに、参加することにより、さらに今後の活動意欲を高めることを目指す。 | 289 | 参加者8人 | B | B |
| 12 | 奥尻中学校檜山管内中学校英語暗唱大会出場事業 | 日々の授業で培った外国語(英語)でのコミュニケーション能力を発表する機会を与えるため、檜山管内で開催される英語暗唱大会への出場旅費を助成している。 | 66 | 奥尻中学校 生徒2名 | B | B |
| 13 | 奥尻中学校引率教員遠征費補助事業 | 部活動等の大会出場に係る引率旅費を補助することで、教員の経済的負担の軽減を図る。これまで各補助事業に含まれていた引率旅費を一本化し令和5年度から実施。 | 441 | 奥尻中学校 教員10名参加 | B | B |
| 14 | ミルク給食 | ミルク給食を活用し食育の推進を図る。 | 1,506 | 牛乳代 1,321千円 運搬費 185千円 | B | C |
| 15 | 修学旅行費援助事業(小学校) | 島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせることと、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。 | 698 | 奥尻小学校 8名 青苗小学校 3名 | B | B |
| 16 | 修学旅行費援助事業(中学校) | 島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせることと、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。 | 1,111 | 奥尻中学校 10名 | B | B |

令和5年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

| 番号 | 事業名 | 事業内容 | 事業費 | 備考 | 自己評価 | 外部評価 |
|----|------------------------|---|---------|--|------|------|
| 17 | 修学旅行費援助事業(高等学校) | 島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせることと、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。 | 927 | 奥尻高等学校 21名 | B | B |
| 18 | まなびじま奥尻プロジェクト | 持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、島全体を学校とみなし各産業の課題克服に向け生徒自身が考え行動する。 | 0 | まちおこしワークショップ 奥尻イングリッシュサローン Wi-fiコーナー 奥尻パブリシティ | A | A |
| 19 | 奥尻高校島留学生受入推進事業 | 奥尻高校の生徒数維持・教育環境の向上のため島外からの生徒受入を実施する。 | 292,257 | 生徒募集説明会 オープンキャンパス 受入宿舍助成 島留学生への補助 寄宿舎増築 | B | B |
| 20 | スクーバ授業推進事業 | 離島という特性を生かし、特色ある授業としてスクーバ授業を実施する。 | 5,339 | スクーバ授業委託料 スクーバ備品 | B | B |
| 21 | 外国語教育指導助手招へい事業 | 外国語教育指導助手を招へいし、小中高の外国語教育の向上を図る。 | 3,329 | | B | B |
| 22 | GIGAスクールの推進 | 各学校児童生徒及び教員向けのタブレット端末の整備、また全学校の普通教室への無線LAN環境を活用したICT教育の推進を図る。 | 1,600 | | A | A |
| 23 | 少年の主張発表大会への支援 | 日常生活の中で、日頃考えていることを広く発表することにより、社会の一員としての自覚と責任の育成を図る。 | 23 | 少年教育の推進 | B | B |
| 24 | 成人式・成人の集い | 社会組織の一員となることから、自覚の意識を持たせることを目的とする。 | 241 | 青年教育の推進 | B | B |
| 25 | 社会教育団体への支援 | PTA連合会・女性団体連絡協議会・文化協会への支援を行う | 261 | 青年教育・女性教育・芸術文化振興の推進 | B | B |
| 26 | 社会体育団体への支援 | 体育協会・スポーツ少年団・町民体育祭実行委員会への支援を行う | 929 | スポーツ振興・少年教育の推進 | B | B |
| 27 | 第45回子ども芸術展 | 児童・生徒に対し書道の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を育む。 | 142 | 芸術・文化 | B | B |
| 28 | 奥尻岬巡りツアー | 奥尻町に転入された方を中心に、島の史跡や歴史、活動を紹介することで、より奥尻島を深く知ってもらうとともに、今後の社会活動のきっかけづくりとする。 | 2 | 芸術・文化 | B | B |
| 29 | 児童芸術鑑賞事業(中止) | 舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童に対して、鑑賞する機会を提供し、次代を担う児童生徒の豊かな感性や個性を育むと共に、芸術文化を理解し、大切にすることを養う。 | 136 | 芸術・文化 | A | A |
| 30 | 佐藤義則杯野球大会(中止) | 郷土の星、「佐藤義則」氏の功績をたたえとともに、町内野球団体の技術の普及向上と親睦を図る。 | 0 | スポーツ推進事業 | C | C |
| 31 | 檜山管内スポーツフェスタ(町内開催)(中止) | 管内で競技を持ち回りながら行っている事業。奥尻町ではゲートボール大会を開催。 | 0 | スポーツ推進事業 | B | B |
| 32 | 檜山管内スポーツフェスタ(町外開催) | 管内で協議を持ち回りながら行っている事業。令和5年度はバドミントン競技(せたな町)に参加した。 | 133 | スポーツ推進事業 | B | B |
| 33 | 第46回町民スキー大会事業(中止) | スキーを通じて、冬期間における町民の親睦と体力・技術の向上を図る。 | 0 | スポーツ推進事業 | B | B |

令和5年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

| 番号 | 事業名 | 事業内容 | 事業費 | 備考 | 自己評価 | 外部評価 |
|----|----------------------|---|---------|------------|------|------|
| 34 | 学校体育館・グラウンド夜間開放事業 | 身近なところで気軽にスポーツに親しめるよう、学校の体育施設を開放する。 | 137 | スポーツ推進事業 | B | B |
| 35 | スキー場開放事業 | 簡易リフトを開放し、スキー人口の拡大と愛好者の技術の向上を図る。 | 2,153 | スポーツ推進事業 | B | B |
| 36 | 第26回教育長杯グラウンドゴルフ大会事業 | 誰にでもできるスポーツとして親睦と体力の向上を図るため実施した。 | 38 | スポーツ推進事業 | C | C |
| 37 | おくしりチャレンジスクール | 地域の多様な人物、企業等に参画していただき、学校で経験できないような体験事業を年間を通じて開催することで、青少年の「生きる力」を育むとともに、町民の主体的なまちづくりへの意識を醸成する。 | 42 | 青少年教育・成人事業 | B | B |
| 38 | うみいるCafé | 図書室の取り組みによる読書活動の推進及び図書室利用者増加。ボランティアによる町民の主体的なまちづくり意識の醸成。 | 18 | 青少年教育・成人事業 | B | B |
| 39 | ブックスタート | 親子の健やかな成長の促進、過程を見守る地域の支援体制づくり。家庭・地域の連携による子どもの読書活動の推進。 | 8 | 青少年・成人教育事業 | B | B |
| 40 | 子ども発達支援センター運営事業 | 子ども発達支援センター事業の充実を図るため、対象児童への個別療育指導及び発達支援体制のコーディネート等を実施する。 | 6,737 | 利用者数 | B | B |
| | 合計 | | 330,526 | | | |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|-------------------------------------|------|--|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | いじめ不登校対策 | 施策内容 | 児童生徒及び高等学校生徒による、いじめ・不登校等の問題行動等の諸課題に対する具体的な対応方針等についての検討会議を行う。 | | |
| 事業名 | 奥尻町いじめ・不登校等対策委員会、奥尻町いじめ根絶子ども会議 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年10月17日（対策委員会）、令和5年11月10日（子ども会議） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成19年度 |
| 目的 | 奥尻町内における、いじめ・不登校等の問題行動や生徒指導上の課題の解決に向け、各学校の取り組み状況や実態把握、情報交換、協議等を通じて、関係機関等が密接な連携・推進を図るため。 |
| 事業概要 | 各小中学校の児童生徒の代表者及び奥尻高等学校の代表者により、いじめ不登校対策の事例発表を行い、それについて全体会議及び班毎に討議を行う。 |
| 対象者 | 奥尻町立学校児童生徒及び奥尻高等学校生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 事務局費 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| 費用弁償 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|--|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ランク A </div> | いじめ・不登校等の問題行動について、児童生徒自身が考え、行動する機会を得ることで、問題行動等に対する課題意識の発揚と、未然防止対策につながるようになることから、極めて有意義であると考えます。また、関係者間での情報共有を密にし、未然防止。早期発見に努める。なお、インターネットを活用したSNSの問題などへの対応を含め、内容等を充実し対応する必要があります。 |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | いじめは重要な問題であるため、会議回数を増やすのが望ましいが、対面による開催にも限度があるため会議のテーマを身近な問題にするなどして、内容を充実する形で拡充する。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|----------------------|------|--|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 義務教育 | 施策内容 | 特別に支援を要する児童生徒について協議し、特別支援学級の設置などを判断する。 | | |
| 事業名 | 特別支援教育連絡協議会 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年6月12日、令和5年12月14日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 特別支援教育連絡協議会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 奥尻町立の幼稚園、小学校、中学校、高校において、特別な教育的支援を必要とする子どもに、適切かつ効果的・効率的な指導を推進するため。 |
| 事業概要 | 奥尻町立幼稚園、小学校、中学校、高校の校長及びコーディネーター、そして奥尻町住民課長、保健指導係長、子ども支援係長、函館児童相談所を構成員として、学習障害（LD）多動性障害（ADHD）等を含む障害のある児童生徒に対する支援体制のあり方などを協議・検討する。 |
| 対象者 | 園児・児童・生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 事務局費 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 費用弁償 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 近年、特別な支援を要する子どもたちが増えてきている現状にあることから、こうした組織の必要性、重要性も増してきている状況にあり、現状を維持しつつ、継続すべき事業と考える。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 各学校の状況を把握できるとともに、交流できる機会であることから現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|-------------------------|------|----------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 教育委員会活動 | 施策内容 | 教育委員会委員による学校訪問 | | |
| 事業名 | 「北海道教育の日」協賛行事 教育委員会学校視察 | | | | |
| 事業実施日 | 令和6年2月20日（町内全校） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 教育委員会委員による学校訪問を行うことで、学校経営や学校での取り組みについて、教育委員会委員へ実情を説明し、意見交換を行うため。 |
| 事業概要 | 基本的に校長が新たに赴任した学校を当該年度において訪問することとし、学校経営等の実情を聞き取りする。また教育委員会委員との意見交換を行う。（奥幼、青幼、奥小、青小、奥中、奥高訪問） |
| 対象者 | 各学校長・教頭、各幼稚園園長 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 教育委員会費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 費用弁償 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | B |
| | 教育委員会委員による学校訪問は、学校経営がどのように行われているかを知る機会となり、それにより教育の方向性等を検討することができるので、有意義であると考えられる。また、学校側にとっても学校の現状や課題、要望等について教育委員へ直接伝えることができるため、問題解決のための一助となっている。現状を維持しながら、継続していく必要がある。 |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | | |
|-------|--------------------|------|---|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 預かり保育 | 施策内容 | 幼稚園の保育時間外に、在園児を幼稚園の施設で預かり、保護者の子育てを支援する。 | | | |
| 事業名 | 預かり保育 | | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年4月6日～令和6年3月26日 | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成23年度 |
| 目的 | 幼稚園の保育時間終了後、幼稚園の管理下において希望する在園児を当該施設で預かり保育することにより、保護者の子育てを支援する。 |
| 事業概要 | 幼稚園において通園している園児を対象に、希望があれば、登園時間の15分前からと保育時間終了後、預かり保育を行う。 |
| 対象者 | 奥尻町立幼稚園園児（保護者）※青苗幼稚園は平成26年10月より実施。 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 開設日数 | 172 | 168 | 205 | 200 | 203 |
| 利用者延べ人数 | 3,506 | 10,888 | 3,744 | 2,648 | 2,468 |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 幼稚園保育料 (預かりのみ) | 91 | 175 | 169 | 103 | 72 |
| 幼稚園管理費 | 12,941 | 13,807 | 16,539 | 19,601 | 18,164 |
| 臨時職員賃金 | 3,928 | 2,701 | 3,130 | 3,674 | 4,238 |
| 消耗品費 | 58 | 54 | 56 | 47 | 35 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | B |
| | 保護者の子育て支援のため、幼稚園の保育時間終了後預かり保育を実施している。平成26年度からは、青苗幼稚園においても預かり保育を始めている。また令和元年10月1日からの幼児教育・保育の無償化により共働き世帯については無償となり、朝の預かり保育（8：15～）についても令和元年11月1日から開始したことにより、より一層利用しやすい環境となった。保護者が働きやすい環境を確保するためにも、今後も事業の継続が必要である。 |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | | |
|-------|--------------------|------|--|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 後期中等教育・大学教育・専修学校教育 | 施策内容 | 高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者に奨学金を貸し付ける | | | |
| 事業名 | 奨学金の貸付 | | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 昭和63年 |
| 目的 | 奥尻町に在住する者の子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学する者あるいは現に在学する優秀な生徒並びに学生で経済的理由により、就学困難な者に対し、奨学資金の貸付けをもって有用な人材を育成することを目的とする。 |
| 事業概要 | 高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者に奨学金を貸し付ける |
| 対象者 | 奥尻町に在住する者の子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新規貸付 人 | 3 | 3 | 4 | 2 | 2 |
| 新規貸付 千円 | 1,440 | 1,440 | 2,160 | 960 | 960 |
| 在学中貸付 人 | 9 | 9 | 11 | 10 | 10 |
| 在学中貸付 千円 | 4,451 | 4,451 | 6,060 | 5,520 | 5,520 |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 奨学金 | 5,891 | 7,440 | 8,220 | 6,480 | 6,480 |
| 負担金補助及び交付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 奨学資金貸付金 | 5,891 | 7,440 | 8,220 | 6,480 | 6,480 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|---|-------------------------|----------|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>奨学資金貸付条例に基づき事業実施しており、この間有用な人材を育成し、ある一定の成果をあげてきていると言える。滞納整理に関しては、町内外問わず直接訪問や面談をし、分納誓約書をもらい納付を促している。支払が滞った場合には、速やかに連絡し状況確認を行っている。近年の徴収業務改善により令和5年度の滞納額については1,000千円程度減額することができた。引き続き滞納整理に努め、滞納額の減少を目指す。令和6年度への滞納繰越額：8,158,500円</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 時効管理を適切に行い、現状のまま継続とする。 年1回の通知文書の発出は、利用者が状況把握するのに助かるため引き続き実施すること。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------|------|------------------------------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 生徒指導・非行防止 | 施策内容 | 三大祭り等の際に、児童生徒の安全及び非行等がないか見回り活動を行う。 | | |
| 事業名 | 奥尻町校外生活指導連絡協議会運営事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町校外生活指導連絡協議会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 奥尻町の将来を背負う若者の健やかな成長のため、小中高、保護者、地域間の協力を目指す。 |
| 事業概要 | 町内小中高生の生活の実態について共通理解を深め、緊急の事態が起こった場合、学校・理事・保護者が適切に努める。 |
| 対象者 | 奥尻町教育委員会、各小中学校生徒指導担当教諭、児童委員、少年指導員、警察、奥尻町交通安全協会 |

3.実施状況

| 指標 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------------|----|-----------------------------|----------------------|----------------|--------------------------|-----------------------|
| 会議開催回数 | | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 少年の主張大会への派遣（引率者） | 人数 | 1 | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 | 0 (町教委より派遣) | 0 (町教委より派遣) | 1 |
| 教育講演会（町P連共催） | 講師 | 運尾 豊 氏 (あおもり女性ヘルスケア研究所長) | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 | 濱田 康 | 白石 友柄 (合同会社 manasobi) | 坂本 博之 (SRSボクシングジム) |
| 決算額 | 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 事務局費 | | 100 | 100 | 21 | 41 | 96 |
| 負担金補助及び交付金 | | 100 | 100 | 21 | 41 | 96 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">D</td> </tr> </table> | ランク | D | 令和5年度は、三大祭りの巡回指導や少年の主張大会への引率、広報誌の発行、教育講演会の開催とコロナ禍以前の事業内容で実施することができた。令和6年度以降、働き方改革により教職員の巡回指導ができなくなるため、巡回指導を廃止し継続していく。 |
| ランク | | | |
| D | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 働き方改革により巡回指導を廃止したことで事業が縮小されているが、教育講演会の開催や広報誌の発行は今後も必要なことから継続して実施すること。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------|------|----------------------------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 教育団体の育成 | 施策内容 | 教育三団体の育成及び活動の充実を図るため、その運営費を助成する。 | | |
| 事業名 | 奥尻町教育団体連合会運営事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育団体連合会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 町内小中学校の教育活動を補助する各種団体の円滑な運営を目的とする。 |
| 事業概要 | 奥尻町特別支援学級教育研究会、奥尻町教育推進協議会、奥尻町へき地複式教育研究連盟 |
| 対象者 | 奥尻町立学校教職員 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| へき地複式教育研究連盟 補助金 | 34 | 23 | 19 | 46 | 50 |
| 特別支援学級教育研究会 補助金 | 154 | 43 | 158 | 105 | 113 |
| 教育推進協議会 補助金 | 124 | 38 | 197 | 188 | 190 |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 事務局費 | 312 | 104 | 374 | 339 | 353 |
| 負担金補助及び交付金 | 312 | 104 | 374 | 339 | 353 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 町内外の教育関係機関との連携や、学校間の交流、公開研究会などを通じて教員の資質向上を図り、もって児童生徒の学力向上などへ資することから、必要な施策と考える。現状を維持し継続する。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------|------|--------------------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 小学校歴史 | 施策内容 | 郷土教育を図るため社会科副読本を増刷・修正する。 | | |
| 事業名 | 奥尻町社会科副読本製作事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町社会科副読本製作委員会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 改訂した社会科副読本の増刷・内容修正をする。 |
| 事業概要 | 奥尻町社会科副読本の内容修正・増刷 |
| 対象者 | 奥尻町小学校児童 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 内訳 | | | | | |
| 事務局費 | 0 | 1 | 4 | 2 | 0 |
| 会議費 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 印刷製本費 | 23 | 34 | 24 | 27 | 24 |
| 旅費 | 3 | 0 | 4 | 2 | 2 |
| 消耗品費 | 1 | 0 | 2 | 2 | 3 |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 事務局費 | 28 | 35 | 34 | 33 | 29 |
| 負担金補助及び交付金 | 28 | 35 | 34 | 33 | 29 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 今後も情報の更新や増刷予算の確保は必要なものの、大きな改訂はないため、現状のまま継続していく。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> C 改善の上継続 <input type="checkbox"/> D 事業の縮小 <input type="checkbox"/> E 休廃止の検討 <input type="checkbox"/> |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|-------------------------|------|-------------------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 高等学校 | 施策内容 | 奥尻高校の生徒が学習支援ツールを使うための補助 | | |
| 事業名 | 学習支援ツール（スタディサプリ）導入事業補助金 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成29年度 |
| 目的 | 生徒の学習の際に使用できるツールの使用料を補助することで、教育の質を向上させる。 |
| 事業概要 | インターネット接続環境においてスマートフォンやパソコンを利用し動画を視聴することができるサービス。大学別講座や、センター試験対策講座の受講が可能。奥尻高校生徒へのスタディサプリ利用料3分の2を町で補助している。 |
| 対象者 | 奥尻高校生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 利用者数 | 65 | 81 | 82 | 71 | 57 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 教育振興費 | 260 | 324 | 328 | 288 | 228 |
| 負担金補助及び交付金 | 260 | 324 | 328 | 288 | 228 |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>学習支援ツールを導入することにより、生徒たちの自主的な学習機会の増加が見込め、またツールにより客観的に自身の理解度などを把握できるため、学習の方向性を定めやすくなっており、全体的な学力向上につながっているため、継続した実施が必要と考える。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | <p>評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。</p> <p>学力向上につながっていることから、全額補助を検討すること。</p> |

1.基本項目

| | | | | | | |
|-------|---|------|--|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | 檜山中体連に参加することで、日頃の練習の成果を試すとともに、部活動への活動意欲を高める。 | | | |
| 事業名 | 奥尻町立中学校檜山中体連陸上・各球技大会出場事業 | | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年6月10～11日（陸上）、令和5年7月3～5日（野球）、令和5年7月4～5日（卓球）、令和5年7月3～4日（バレー）、令和5年8月3～5日（全道卓球） | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町立中学校 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 日頃の練習の成果を試すとともに、全道大会出場権獲得も含め、上位入賞を目標として参加する。 |
| 事業概要 | 中体連に参加することで日頃の練習の成果を試すとともに、活動意欲を高め、体育教育の向上を目指す。 |
| 対象者 | 奥尻町立中学校生徒及び引率教員 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加生徒数 | | | | | |
| 陸上 | 11 | 0 | 5 | 8 | 18 |
| 野球 | 11 | 6 | 9 | 9 | 13 |
| 卓球 | 7 | 10 | 10 | 10 | 7 |
| バレー | 10 | 4 | 6 | 6 | 4 |
| 卓球（全道） | 2 | | | 1 | 1 |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 教育振興費 | 789 | 245 | 493 | 784 | 504 |
| 負担金補助及び交付金 | 789 | 245 | 493 | 784 | 504 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ランク B </div> | 部活動の中で最も目標としている檜山中体連出場事業に係る経費であることから、現状を維持し継続することとする。 |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------------|------|--------------------------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | 吹奏楽部函館地区コンクールへ出場するため、必要な助成を行う。 | | |
| 事業名 | 奥尻町立中学校吹奏楽部函館地区コンクール出場事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年7月28～30日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町立中学校 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 日頃の練習の成果を試すとともに、参加することにより、さらに今後の活動意欲を高め、吹奏楽部を中核として情操教育の向上を目指す。 |
| 事業概要 | 北海道吹奏楽連盟主催による函館地区吹奏楽コンクールに参加する。 |
| 対象者 | 奥尻町立中学校生徒及び引率教員 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加生徒数 | 3 | 0 | 5 | 10 | 8 |
| 引率教員数 | 3 | 0 | 2 | 2 | 2 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 教育振興費 | 312 | 0 | 200 | 368 | 289 |
| 負担金補助及び交付金 | 312 | 0 | 200 | 368 | 289 |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 日頃の練習の成果を発表する上で貴重な場であることから、現状を維持して今後も継続していく。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|------------------------|------|-------------------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | 英語暗唱大会へ出場するため、必要な助成を行う。 | | |
| 事業名 | 奥尻中学校檜山管内中学校英語暗唱大会出場事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年10月5日～8日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町立奥尻中学校 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 日々の授業で培ったコミュニケーション能力を発表する機会を与えるため。 |
| 事業概要 | 管内の中中学校から選抜された生徒が集まり、英語暗唱大会を実施している。 |
| 対象者 | 奥尻町立中学校生徒及び引率教員 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加生徒数 | 2 | 0 | 2 | 2 | 2 |
| 引率教員数 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 教育振興費 | 68 | 0 | 39 | 37 | 66 |
| 負担金補助及び交付金 | 68 | 0 | 39 | 37 | 66 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 英語の暗唱大会という、奥尻では開催していないことから、出場することで様々な経験を培えることから、現状を維持しつつ、事業を継続する。令和5年度はフェリー欠航により延泊したため事業費が増大している。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|---|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | 部活動の大会等出場に係る教員の引率旅費について、教員の経済的負担軽減のため引率旅費を補助する。 | | |
| 事業名 | 奥尻中学校引率教員遠征費補助事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年6月10～11日（陸上）、令和5年7月3～5日（野球）、令和5年7月4～5日（卓球）、令和5年7月3～4日（バレー）、令和5年8月3～5日（全道卓球）、令和5年28～30日（吹奏楽）、令和5年10月5～8日（英語暗唱） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町立中学校 |
| 事業開始年度 | 令和5年度 |
| 目的 | 部活動等の大会出場に係る引率旅費を補助することで、教員の経済的負担の軽減を図る。 |
| 事業概要 | 中体連（全道含む）、吹奏楽コンクール、英語暗唱大会の引率旅費を補助する。 |
| 対象者 | 奥尻町立中学校引率教員 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 引率教員数 | | | | | |
| 中体連（陸上） | | | | | |
| 中体連（野球） | | | | | 1 |
| 中体連（卓球） | | | | | 2 |
| 中体連（バレー） | | | | | 2 |
| 卓球（全道） | | | | | 1 |
| 吹奏楽 | | | | | 3 |
| 英語暗唱 | | | | | 1 |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 教育振興費 | | | | | 441 |
| 負担金補助及び交付金 | | | | | 441 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>令和4年度まで檜山中体連陸上・各球技大会出場事業、吹奏楽コンクール出場事業、英語暗唱大会出場事業に含まれていた教員の引率旅費を令和5年度から単独事業として実施。フェリー欠航等による遠征費増減を本事業内で調整できるようにした。生徒の引率は必ず必要であることから、今後も継続して実施する。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---------------------|------|---------------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 義務教育（小学校）、義務教育（中学校） | 施策内容 | ミルク給食を活用した食育の推進を図る。 | | |
| 事業名 | ミルク給食 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養い、ミルク給食を活用した食育の推進を図る。 |
| 事業概要 | 小学校及び中学校においてミルク給食を実施する。 |
| 対象者 | 児童・生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 学校給食費 | 1,238 | 1,099 | 1,537 | 1,473 | 1,506 |
| 需用費 | 1,079 | 940 | 1,378 | 1,288 | 1,321 |
| 役務費 | 159 | 159 | 159 | 185 | 185 |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>現在、北海道内市町村で共同調達しており、小売業者から購入するよりも安価な金額で購入が可能である。また、離島という地域性であるため、食材の安定的供給が不確定要素であるとともに、給食施設も莫大な経費がかかることから、現行のミルク給食を維持していくことが適切であると考えている。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 保護者負担の無償化を検討すること。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|------------------|------|-------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 義務教育（小学校） | 施策内容 | 修学旅行費を援助する。 | | |
| 事業名 | 修学旅行費援助事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年7月4～7日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 児童の広い知識の豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。 |
| 事業概要 | 小学校の修学旅行費を援助する。 |
| 対象者 | 児童 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加者 | | | | | |
| 奥尻小学校 | 5 | 6 | 6 | 4 | 8 |
| 青苗小学校 | 0 | 6 | 6 | 9 | 3 |
| 決算額 千円 | | | | | |
| 教育振興費 | 242 | 564 | 669 | 841 | 698 |
| 扶助費 | | | | | |
| 奥尻小学校 | 242 | 282 | 334 | 259 | 508 |
| 青苗小学校 | 0 | 282 | 334 | 582 | 190 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも事業を継続する必要がある。また、小学校間の交流と経費削減のため奥尻・青苗合同で修学旅行を実施している。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|------------------|------|-------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | 修学旅行費を援助する。 | | |
| 事業名 | 修学旅行費援助事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年8月22～25日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 児童の広い知識の豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。 |
| 事業概要 | 中学校の修学旅行費を援助する。 |
| 対象者 | 生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加者 | | | | | |
| 奥尻中学校 | 13 | 9 | 14 | 7 | 10 |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 教育振興費費 | 1,215 | 680 | 1,321 | 806 | 1,111 |
| 扶助費 | | | | | |
| 奥尻中学校 | 1,215 | 680 | 1,321 | 806 | 1,111 |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも現状のまま維持とする。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|------------------|------|-------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 高等学校 | 施策内容 | 修学旅行費を援助する。 | | |
| 事業名 | 見学旅行費援助事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年10月16～20日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成28年度 |
| 目的 | 生徒に広い知識、豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。 |
| 事業概要 | 高校の見学旅行費を援助する。(1/3補助) |
| 対象者 | 生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加者 | | | | | |
| 奥尻高等学校 | 22 | 0 | 28 | 22 | 21 |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 教育振興費費 | 915 | 0 | 1,163 | 775 | 927 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域性から旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点から継続して実施する。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> C 改善の上継続 <input type="checkbox"/> D 事業の縮小 <input type="checkbox"/> E 休廃止の検討 <input type="checkbox"/> |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------|------|-----------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 高校 | 施策内容 | 島ぐるみで高校の魅力化を図る。 | | |
| 事業名 | まなびじま奥尻プロジェクト | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町、奥尻高校 |
| 事業開始年度 | 平成28年度 |
| 目的 | 持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、島全体を学校とみなし各産業等の課題克服に生徒自身が考え行動する。 |
| 事業概要 | まちおこしワークショップ・奥尻イングリッシュサローン・Wi-fiコーナー・奥尻パブリシティ |
| 対象者 | 奥尻高校生 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 事業予算0ベース | 事業予算0ベース | 事業予算0ベース | 事業予算0ベース | 事業予算0ベース |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table> | ランク | A | <p>島の課題解決に生徒自ら挑戦することで、これからの時代に必要とされる課題解決能力を生徒全員が身につけることができる。また、遠隔個別指導を実施することにより、離島というハンディキャップを解消し、地域格差を是正することができている。こうした取組により奥尻高等学校の魅力化が図れ、生徒の確保にもつながっているが、全国各地が魅力化の取組を始めており、組織体制の検討及びプロジェクトの拡充が急務である。令和5年度は卒業生のコミュニティを発足し、今後Wi-Fiコーナーへの参加者募集業務を依頼する予定。</p> |
| ランク | | | |
| A | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討 |
| 論評 | 島留学生の安定的な受け入れのため、特色ある取り組みを推進すること。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------|------|-------------------------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 高等学校 | 施策内容 | 奥尻高校の存続のため、高校生徒の島外からの受入を実施する。 | | |
| 事業名 | 奥尻高校島留学生受入推進事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和6年4月1日～令和6年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町・奥尻高校 |
| 事業開始年度 | 平成28年度 |
| 目的 | 奥尻高校の生徒数維持、教育環境の向上のため島外からの生徒受入を実施する。 |
| 事業概要 | 全国各地での生徒募集説明会の開催（地域みらい留学）、オープンキャンパスの実施、受入宿舍の確保、受入宿舍および島留学生への補助 |
| 対象者 | 島留学生・保護者・島留学生受入宿舍 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------------|---------|--------|--------|--------|---------|
| 説明会(独自)参加者 人数 | 17 | 24 | 19 | 14 | 16 |
| OC参加者 人数 | 39 | 33 | 17 | 18 | 16 |
| 島留学生(新規) 人数 | 15 | 21 | 20 | 20 | 10 |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 島留学生関連事業費 | 194,350 | 55,571 | 60,252 | 65,651 | 292,257 |
| 旅費 | 540 | 108 | 152 | 298 | 421 |
| 消耗品費 | 422 | 616 | 607 | 606 | 465 |
| 燃料費 | 1,664 | 2,292 | 3,274 | 3,441 | 2,643 |
| 印刷製本費 | 147 | 189 | 147 | 147 | 162 |
| 光熱水費 | 2,944 | 3,744 | 4,147 | 4,133 | 3,518 |
| 修繕料 | 196 | 327 | 500 | 348 | 212 |
| 賄材料費 | 4,151 | 6,982 | 6,913 | 7,372 | 6,303 |
| 通信運搬費 | 205 | 219 | 283 | 292 | 1,280 |
| 手数料 | 168 | 116 | 157 | 130 | 159 |
| 火災保険料 | 202 | 309 | 385 | 308 | 313 |
| 委託料 | 25,093 | 32,841 | 34,216 | 39,714 | 34,925 |
| 使用料及び借上料 | 617 | 614 | 14 | 30 | 57 |
| 工事請負費 | 141,218 | 605 | 1,870 | 0 | 226,337 |
| 備品購入費 | 10,075 | 192 | 411 | 313 | 6,934 |
| 負担金補助及び交付 | 6,708 | 6,417 | 7,176 | 8,519 | 8,371 |
| 補償補填及び賠償金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 157 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>説明会については、東京において地域みらい留学フェスタに参加する形で行い、北海道内では独自の説明会を函館・札幌で行い、奥尻高校の魅力を全国へ伝える良い機会となっている。島留学生の受入は高校の存続、奥尻町が抱える担い手不足・過疎化の解決にとっても重要な取組である。令和5年度は寄宿舍を12部屋増築し54名が入居可能となった。入学者を一定数確保するためにも引き続き生徒募集を継続していく。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> C 改善の上継続 <input type="checkbox"/> D 事業の縮小 <input type="checkbox"/> E 休廃止の検討 <input type="checkbox"/> |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|------------------|------|-----------------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 高等学校 | 施策内容 | 特色ある取組みとしてスクーバ授業を実施する | | |
| 事業名 | スクーバ授業推進事業 | | | | |
| 事業実施日 | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻高校 |
| 事業開始年度 | 平成7年度 |
| 目的 | 奥尻のきれいな海を知ることによって郷土愛を育み、ダイビングスキルを身に付けるとともに防災意識・環境保全の意識の向上を目的とする。 |
| 事業概要 | スクーバダイバー講習、アドバンススクールダイバー講習、潜水技術基礎訓練等を実施。またそれらに使用する機材の更新、保守など |
| 対象者 | 奥尻高校生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| Cカード取得 | 19 | 0 | 18 | 14 | 14 |
| アドバンス取得 | 8 | | | | |
| 潜水土 | 2 | 0 | 2 | 4 | 5 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 人材育成費 | 3,535 | 0 | 4,360 | 4,081 | 5,339 |
| 委託料 | 3,535 | 0 | 4,066 | 4,081 | 4,081 |
| 備品購入費 | 0 | 0 | 294 | 0 | 1,258 |
| 負担金補助及び交付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|---|-----|---|--|
| 評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>奥尻島の美しい海でスクーバダイビングを体験し、島の美しさを再認識することができ郷土愛が育まれる。また、漁業後継者等の人材育成につながることや、生徒募集のPRとしても有効であることから、今後も継続した事業実施に努める必要がある。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | | |
|-------|--------------------|------|-----------------------------------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 外国語教育 | 施策内容 | 外国語教育指導助手を招へいし、小中高における外国語教育を推進する。 | | | |
| 事業名 | 外国語教育指導助手招へい事業 | | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成29年度 |
| 目的 | JETプログラムにより、外国語教育指導助手を招へいし、町内各学校の外国語（英語）教育において、ネイティブスピーカーによる指導をすることにより、児童生徒の外国語（英語）能力の向上を図る。 |
| 事業概要 | 小中高に外国語教育指導助手を派遣し、外国語（英語）の授業の補助をする。 |
| 対象者 | 奥尻町立学校児童生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人数 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 事務局費 | 4,140 | 4,437 | 4,628 | 4,533 | 3,329 |
| 報酬 | 3,735 | 4,053 | 4,229 | 4,154 | 2,541 |
| 費用弁償 | 0 | 22 | 44 | 64 | 92 |
| 普通旅費 | 56 | 0 | 0 | 0 | 45 |
| 燃料費 | 11 | 15 | 8 | 0 | 0 |
| 通信運搬費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 47 |
| 自動車保険料 | 8 | 8 | 8 | 50 | 65 |
| 車借上料 | 223 | 223 | 225 | 151 | 107 |
| 負担金 | 107 | 116 | 114 | 114 | 432 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 既に小学校の段階から外国語教育が導入されており、そのなかでネイティブスピーカーによる外国語指導の実施によって「話す」「聞く」能力の向上が図られるため、事業を継続する。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|------------------|------|--------------------------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 藤谷 和馬 |
| 領域 | 全校 | 施策内容 | I C T教育機器を活用し、教育の質向上を図る。 | | |
| 事業名 | GIGAスクール推進事業 | | | | |
| 事業実施日 | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町立学校 |
| 事業開始年度 | 令和2年度～ |
| 目的 | 高度情報化、グローバル化に対応した教育を行うため、情報モラル教育、利活用スキルの育成を図る。 |
| 事業概要 | 各小中学校児童生徒及び教員向けのタブレット端末の整備、また全学校の普通教室に無線LAN環境を整備することでICT活用教育の推進を図る。 |
| 対象者 | 奥尻町立学校児童生徒・教職員 |

3.実施状況

| 指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------|-------|-------|----------|-------|-------|
| タブレット端末 台数 | | | 212 | | |
| 無線LAN環境 | | | 全校普通教室全域 | | |
| 決算額 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 事務局費 | | | | | |
| 委託費 | | | 1,344 | 1,600 | 1,600 |
| 工事請負費 | | | 0 | 0 | 0 |
| 備品購入費 | | | 0 | 0 | 0 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|---|-----|---|---|
| 評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> | ランク | A | <p>情報化やグローバル化が進み、将来の予測が困難な時代を前に子どもたちは、社会の変化に対して受け身で対処するのではなく、主体的に関わっていく力が必要である。I C T教育を通し、個の学習ニーズに応じた個別最適な学びを実現するため、今後は、整備されたタブレット等の有効活用をし、離島地域ならではのハンディキャップを克服する教育の推進を図っていく。令和6年度に国の交付金を活用して事業を拡充予定。</p> |
| ランク | | | |
| A | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | ICT教育は離島にいながら都会と同等以上の教育機会を確保できることから、事業を拡充し推進すること。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------------------------|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | 青少年教育 | | | | |
| ねらい | 自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 少年の主張発表大会への支援 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年6月27日(火) | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | (主催)北海道檜山振興局 (後援)奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 日常生活の中で体験し、日頃考えている事を広く発表することにより、自らが社会の一員としての自覚と責任の育成を図る。 |
| 事業概要 | 中学校から2名弁論会により選考し、管内で行われる檜山地区大会弁論大会に参加する。 |
| 対象者 | 奥尻中学校生徒(2名) |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加人数 人 | 2 | — | 2 | 2 | 2 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 社会教育総務費 | 21 | 0 | 0 | 0 | 23 |
| 負担金 | 21 | 0 | 0 | 0 | 23 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 自らの主張を正しく理解してもらう力などを身につける事業として必要であると判断する。 (※宿泊費の高騰など予算の増額が必要) |
| ランク | | | |
| B | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | 青年教育 | | | | |
| ねらい | 活動の中心的なリーダー性や意欲を引き出す取り組みを行なうことによって、地域に根差した人材を育成する。 | | | | |
| 事務事業名 | 令和5年度 奥尻町成人式 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年8月12日(土) | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 社会組織の一員となることから、自覚と意識を持たせることを目的とする。 |
| 事業概要 | 町内の成人となる人を海洋研修センターに迎え式典を行う。ただし、成人の集いについては、来賓を交えず新成人のみで行う |
| 対象者 | 町内及び奥尻町出身の成人となる人 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加者 人 | 27 | 18 | 0 | 23 | 24 |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 社会教育総務費 | 222 | 100 | 48 | 258 | 241 |
| 賞賜金 | 130 | 15 | 48 | 250 | 150 |
| 食糧費 | 80 | 80 | 0 | 0 | 85 |
| 通信運搬費 | 6 | 2 | 4 | 8 | 6 |
| 消耗品費 | 6 | 3 | 3 | 0 | |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | |
|---------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | 令和5年度は、コロナ禍では実施出来なかった「成人の集い」も行うこととしたため、出席者が多かった。集いについては来賓を交えず、新成人とその関係者で実施した。島留学生や小学校卒業後に転校した新成人の参加があり、この学年の絆の強さを感じた。また、式典での態度や集いで片付けを自ら進んでする姿勢は立派なものであった。集いについてはバーベキューを実施したが、熱中症対策、食中毒対策を考慮すると室内での実施が望ましい。 |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---------------------------------------|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | 成人教育 | | | | |
| ねらい | 各社会教育団体に補助することにより、地域活動の推進、地域文化の振興を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 社会教育団体への支援 | | | | |
| 事業実施日 | 通年 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 各団体へ要望に基づき補助を行うことで、活動の活性化を促し、地域に根差した活動の振興を図る。 |
| 事業概要 | PTA連合会・女性団体連絡協議会・文化協会への支援を行う。 また、金銭面以外でも教育委員会として各団体主催事業に対しサポートする。 |
| 対象者 | 奥尻町PTA連合会、奥尻町女性団体連絡協議会、奥尻町文化協会 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 児童生徒数 人 | 99 | 101 | 111 | 103 | 106 |
| 文化団体数 | 10団体、個人4人 | 10団体、個人4人 | 12団体、個人1人 | 10団体、個人1人 | 10団体、個人1人 |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 社会教育総務費 | 357 | 105 | 179 | 162 | 261 |
| 補助金（PTA） | 125 | 22 | 20 | 56 | 77 |
| 補助金（女連協） | 121 | 34 | 83 | 15 | 82 |
| 補助金（文化協会） | 111 | 49 | 76 | 91 | 102 |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | | | |
|--|--|--|---|--|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">ランク</td> <td>近年は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、思うような活動を行うことができなかったが、今年度から様々な活動を再開した。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td>各団体の更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要はあるが、予算要求の段階で活動方針を精査する。</td> </tr> </table> | ランク | 近年は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、思うような活動を行うことができなかったが、今年度から様々な活動を再開した。 | B | 各団体の更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要はあるが、予算要求の段階で活動方針を精査する。 | |
| ランク | 近年は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、思うような活動を行うことができなかったが、今年度から様々な活動を再開した。 | | | | |
| B | 各団体の更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要はあるが、予算要求の段階で活動方針を精査する。 | | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1. 基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------------------------|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 各社会体育団体に補助することにより、地域活動の推進、スポーツ振興を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 社会体育団体への支援 | | | | |
| 事業実施日 | 通年 | | | | |

2. 事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 各団体へ要望に基づき補助を行うことで、活動の活性化を促し、地域に根差した活動の振興を図る。 |
| 事業概要 | 奥尻町スポーツ協会・奥尻町スポーツ少年団・奥尻町町民体育祭実行委員会への支援を行う。 また、金銭面以外でも教育委員会として各団体の運営に対しサポートする。 |
| 対象者 | 奥尻町スポーツ協会、奥尻町スポーツ少年団、奥尻町町民体育祭実行委員会 |

3. 実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------------|-------|-------------------------|-------------------------|-------|-------|
| 体協(スポ協)加盟団体数 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| スポ少加盟団体数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| マラソン大会参加人数 | 246 | 新型コロナウイルス感染症 拡大のため中止 | 新型コロナウイルス感染症 拡大のため中止 | 226 | 206 |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 保健体育総務費 | 450 | 340 | 324 | 515 | 929 |
| 補助金【体協(スポ協)】 | 187 | 234 | 219 | 216 | 387 |
| 補助金【スポ少】 | 106 | 106 | 105 | 101 | 108 |
| 補助金【町体祭】 | 157 | 0 | 0 | 180 | 180 |
| 補助金【奥中白老野球】 | | | | 18 | 254 |

4. 事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | <p>補助金を有効に活用し町民体育祭マラソン大会を継続実施することが出来た。 スポーツ協会・スポーツ少年団については自己負担金はあるものの、更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要がある。 ※「体育協会」は、H31.4.1より「スポーツ協会」に名称変更。</p> |
| B | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5. 外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | 芸術・文化 | | | | |
| ねらい | 町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。 | | | | |
| 事務事業名 | 第45回子ども芸術展 | | | | |
| 事業実施日 | 令和6年1月27日(土)～2月4日(日) | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 児童・生徒の書道の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を養う。また、絵画による表現や鑑賞の機会を提供することにより、創作する喜びや、作品を通して感動する心豊かな感性や情操を養う。 |
| 事業概要 | 海洋研修センターで、各小中学校から提出のあった美術・書道作品を展示する。 |
| 対象者 | 小学校児童及び中学校生徒 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|------------|-------------|-----------|--------|---------|
| 作品数 点 | 書道97 絵画169 | 書道100 絵画170 | 絵画・版画 185 | 絵画 106 | 絵画 95 |
| | | | 書道 106 | 版画 74 | 版画等 74 |
| | | | | 書道 102 | 書道等 103 |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 社会教育総務費 | 書道42 絵画57 | 書道47 絵画62 | 103 | 127 | 142 |
| 報償費 | 書道40 絵画52 | 書道44 絵画57 | 97 | 121 | 126 |
| 費用弁償 | 書道2 絵画5 | 書道3 絵画5 | 6 | 6 | 6 |
| 印刷製本費 | | | | | 10 |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | |
|----------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | 令和4年度から書道展と美術展を同時開催する「子ども芸術展」として実施している。 書道作品と絵画作品を同時に展示したことで、展示作品数が多くなり、見応えのある展示会となった。 令和6年度以降も子どもたちの作品を多くの町民に見てもらえる事業として継続していく必要があると考える。 |
| B | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 稲垣 森太 |
| 領域 | 芸術・文化 | | | | |
| ねらい | 町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。 | | | | |
| 事務事業名 | 奥尻岬巡りツアー | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年5月7日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成27年度 |
| 目的 | 奥尻町に転入された方を中心に、島の史跡や歴史、活動を紹介することで、より奥尻島を深く知ってもらくとともに、今後の社会活動のきっかけづくりとする。 |
| 事業概要 | 島内の史跡や観光地を巡りながら、島の情報を発信し、相互の親睦を図り、これからの島での活動につなげていってもらう。 |
| 対象者 | 全町民 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加者数 人 | 14 | 26 | 中止 | 27 | 23 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 社会教育総務費 | 9 | 14 | 0 | 2 | 2 |
| 食糧費 | 9 | 14 | 0 | 2 | 2 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|---|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>昼食代は参加者負担のため、食糧費はバス運転手分のみである。</p> <p>新しく島に来る人にとってはとても有意義な事業であり、今後もこの方向性で展開していく。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | 芸術・文化 | | | | |
| ねらい | 町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。 | | | | |
| 事務事業名 | 児童芸術鑑賞事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年10月6日(中止) | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 日頃舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童生徒に対して、鑑賞する機会を提供し、次代を担う児童生徒の豊かな感性や個性を育むと共に、芸術文化を理解し、大切にすることを養う。 |
| 事業概要 | 児童を対象に、小学校体育館を活用し、児童劇、音楽隊などの芸術団体を招き、鑑賞する。文化庁が実施している巡回公演(経費は全額文化庁が負担)と北海道巡回小劇場(事業費42万円は町負担)どちらかを実施。 |
| 対象者 | 町内小学生 |

3.実施状況

| 数値等で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------|---------|-------------|-------|-----------|------------|
| 巡回小劇場 | | | | | |
| 巡回公演 | 風の子バザール | めばえ寄席○○亭→中止 | 申込なし | 津軽三味線 あべや | あらしのよるに→中止 |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 社会教育総務費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 136 |
| 負担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 136 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | | | | | |
|--|--|---|---|--|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> <td>令和5年度は文化庁の巡回公演に応募しましたが採択されず、単独での事業開催を予定しましたがフェリー欠航により事業を中止した。</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>令和6年度は音楽のゆうえんちを予定しており、今後については演劇、音楽等の芸術をある程度のサイクルで実施し、幅広く芸術に触れる機会を提供する。また6年に1度劇団四季が江差町で公演する予定であり、生徒の参加も含めて検討していく。</td> </tr> </table> | ランク | 令和5年度は文化庁の巡回公演に応募しましたが採択されず、単独での事業開催を予定しましたがフェリー欠航により事業を中止した。 | A | 令和6年度は音楽のゆうえんちを予定しており、今後については演劇、音楽等の芸術をある程度のサイクルで実施し、幅広く芸術に触れる機会を提供する。また6年に1度劇団四季が江差町で公演する予定であり、生徒の参加も含めて検討していく。 | |
| ランク | 令和5年度は文化庁の巡回公演に応募しましたが採択されず、単独での事業開催を予定しましたがフェリー欠航により事業を中止した。 | | | | |
| A | 令和6年度は音楽のゆうえんちを予定しており、今後については演劇、音楽等の芸術をある程度のサイクルで実施し、幅広く芸術に触れる機会を提供する。また6年に1度劇団四季が江差町で公演する予定であり、生徒の参加も含めて検討していく。 | | | | |
| A 事業の拡充 | B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 | | | | |

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 児童生徒が芸術に触れる機会を増やすとともに、1つの分野に限らず、幅広い分野の芸術に触れさせるため事業を拡充して実施する。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---------------------------------------|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい青少年の育成を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 令和5年度佐藤義則杯野球大会 | | | | |
| 事業実施日 | 参加チームがなかったことから中止 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成元年 |
| 目的 | 郷土の星、「佐藤義則」氏（元プロ野球 オリックスブルーウェーブ投手）の功績をたたえとともに、町内野球団体の技術の普及向上と親睦を図る。 |
| 事業概要 | 町内の野球団体の参加をいただき、野球大会を開催することにより、野球振興の活性化を図る。 |
| 対象者 | 町内野球団体 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加チーム数 チーム | 3 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 保健体育総務費 | 60 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 報償金 | 45 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 賞賜金 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 消耗品 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 食糧費 | | 0 | 0 | 0 | 0 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>C</td></tr> </table> | ランク | C | 過去は町内野球団体（奥中・奥高野球部を含む）による野球大会として野球愛好会を軸に展開し、町の野球振興につながっていた。今後は野球団体の意向も聞きながら事業の実施を判断したい。 |
| ランク | | | |
| C | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 野球団体が少なくなってきたことから、事業の実施について検討すること。冠に捉われずスポーツ振興のため別の競技での開催についても検討すること。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 檜山管内スポーツフェスタ（町内開催） | | | | |
| 事業実施日 | 熱中症警戒アラート発令のため安全を考慮し中止 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | （主催）檜山管内スポーツフェスタ実行委員会 （共催）奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成13年度 |
| 目的 | 町民のスポーツ振興及び参加意欲向上と、他町参加者との親睦と交流を図る。 |
| 事業概要 | 檜山管内スポーツフェスタとしてゲートボール競技を開催する予定であったが中止とした。 |
| 対象者 | 管内スポーツ団体 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 参加町数 町 | 3 | 中止 | 中止 | 3 | 中止 |
| 参加人数 人 | 29 | 中止 | 中止 | 24 | 中止 |
| 競技名 | ゲートボール | 卓球 | 卓球 | バドミントン | ゲートボール |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | | |
|--|---|---|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> <td rowspan="2"> 令和5年度の自町開催の大会は、「ゲートボール競技の部」であったが熱中症警戒アラートの発令により中止とした。 本事業は他町の選手が来町し、競技を通じて交流を深められる絶好の機会であることから、当町で開催できる種目は限定的であるが、檜山管内のスポーツ協会連絡協議会や町内のスポーツ団体とも連携をとりながら事業を継続していきたい。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | 令和5年度の自町開催の大会は、「ゲートボール競技の部」であったが熱中症警戒アラートの発令により中止とした。 本事業は他町の選手が来町し、競技を通じて交流を深められる絶好の機会であることから、当町で開催できる種目は限定的であるが、檜山管内のスポーツ協会連絡協議会や町内のスポーツ団体とも連携をとりながら事業を継続していきたい。 | B | |
| ランク | 令和5年度の自町開催の大会は、「ゲートボール競技の部」であったが熱中症警戒アラートの発令により中止とした。 本事業は他町の選手が来町し、競技を通じて交流を深められる絶好の機会であることから、当町で開催できる種目は限定的であるが、檜山管内のスポーツ協会連絡協議会や町内のスポーツ団体とも連携をとりながら事業を継続していきたい。 | | | |
| B | | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 檜山管内スポーツフェスタ（町外開催） | | | | |
| 事業実施日 | - | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 事業主体 | (主催) 檜山管内スポーツフェスタ実行委員会 (共催) 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成13年度 |
| 目的 | 町民のスポーツ振興及び参加意欲向上と、他町参加者との親睦と交流を図る。 |
| 事業概要 | 檜山管内スポーツフェスタとして、町外の大会に参加する。 |
| 対象者 | 管内スポーツ団体 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 参加競技数 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| | バドミントン | ゲートボール | ゲートボール | - | バドミントン |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 保健体育総務費 | 71 | 115 | 128 | 0 | 133 |
| 負担金 | 71 | 115 | 128 | 0 | 133 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|----------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | 各競技とも対外試合をする機会は少ないので、参加する意義は高い。 近年、競技人口や開催時期、フェリーのダイヤの問題で参加が難しくなっているが、奥尻町が参加出来る時期をあらかじめスポーツ団体で検討のうえ、開催町へ働きかけることが必要と思われる。 |
| B | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 第46回町民スキー大会 | | | | |
| 事業実施日 | - | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 昭和49年度ころ |
| 目的 | スキーを通じて、冬期間における町民相互の親睦と体力・技術の向上を図る。 |
| 事業概要 | 町内の小中学生を中心にしたスキー、スノーボードの大会を開催する事業。 |
| 対象者 | 町内小中高生・一般 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 参加者 人 | 58 | 中止 | 中止 | 36 | 中止 |
| 予算支出 千円 | 平成30年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 保健体育総務費 | 187 | 0 | 0 | 54 | 0 |
| 報償費 | 98 | 0 | 0 | 54 | 0 |
| 消耗品 | 35 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 燃料費 | | | | | |
| 食糧費 | 54 | 0 | 0 | 0 | 0 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | | |
|--|---|---|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> <td rowspan="2">冬期間のスポーツ振興としてのスキーは確立しており、引き続き愛好会との連携で行なっていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> </table> | ランク | 冬期間のスポーツ振興としてのスキーは確立しており、引き続き愛好会との連携で行なっていく必要がある。 | B | |
| ランク | 冬期間のスポーツ振興としてのスキーは確立しており、引き続き愛好会との連携で行なっていく必要がある。 | | | |
| B | | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 学校等体育館・グラウンド夜間開放事業 | | | | |
| 事業実施日 | 通年 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 町民の身近なところで、気軽にスポーツを楽しめるよう、学校の体育施設を開放する。 |
| 事業概要 | 各愛好会のスポーツ振興のため、各学校施設の体育館、グラウンド、町民センター体育館を町民に開放する。 |
| 対象者 | 町民 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 体育館利用団体 チーム | 17 | 17 | 16 | 8 | 17 |
| グラウンド利用団体 チーム | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| 収入 円 | 164 | 180 | 172 | 56 | 231 |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 体育施設費 | 193 | 108 | 103 | 126 | 137 |
| 報酬 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 賃金 | 193 | 108 | 103 | 126 | 137 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|---|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 過去に比べると利用団体数の減少がみられるものの、屋内施設でスポーツが出来ることは健康増進に繋がることから、学校の協力を得ながら可能な限り開放を継続したい。 |
| ランク | | | |
| B | | | |
| A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 | | | |

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | スキー場開放事業 | | | | |
| 事業実施日 | 令和6年1月30日～2月12日、2月16日～17日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|----------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 簡易リフトを開放し、スキー人口の拡大と愛好者の技術の向上を図る。 |
| 事業概要 | 桜ヶ丘スキー場の冬期間解放。 |
| 対象者 | 一般町民 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| リフト券購入者 人 | 20 | 60 | 95 | 75 | 39 |
| 延べ利用者 人 | 67 | 1950 | 1891 | 1569 | 747 |
| オープン期間 日 | 3 | 55 | 52 | 55 | 16 |
| 収入 円 | 41 | 166 | 183 | 146 | 79 |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 体育施設費 | 1,068 | 2,329 | 2,583 | 1,987 | 2,153 |
| 賃金 | 372 | 1,403 | 1,313 | 1,159 | 663 |
| 機械借上 | | | | | 20 |
| 消耗品費 | 42 | 27 | 35 | 30 | 59 |
| 燃料費 | 37 | 100 | 126 | 123 | 32 |
| 光熱水費 | 180 | 252 | 264 | 260 | 219 |
| 修繕費 | 7 | 0 | 33 | 0 | 620 |
| 手数料 | 3 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 火災保険料 | 15 | 14 | 14 | 14 | 15 |
| 委託料 | 358 | 352 | 743 | 347 | 408 |
| 使用料 | 54 | 54 | 54 | 54 | 54 |
| 原材料費 | | | | | 62 |
| 備品購入費 | | 127 | 0 | 0 | 0 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|----------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | 冬季のスポーツ振興の一角を担っている事業。 冬期間の運動不足の解消及び児童生徒のスキー授業など今後も維持していく必要がある。 |
| B | |

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> C 改善の上継続 <input type="checkbox"/> D 事業の縮小 <input type="checkbox"/> E 休廃止の検討 <input type="checkbox"/> |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 第28回教育長杯グラウンドゴルフ大会 | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年9月3日(日) | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成6年度 |
| 目的 | 誰にでもできるスポーツのグラウンドゴルフの普及と技術の向上をめざし、相互の親睦と体力の増進を図る。 |
| 事業概要 | グラウンドゴルフの大会を開催する。 |
| 対象者 | 小学生～一般町民 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加者 人 | 43 | 中止 | 中止 | 中止 | 24 |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 保健体育総務費 | 40 | 0 | 0 | 0 | 38 |
| 報償費 | 40 | 0 | 0 | 0 | 38 |
| 食糧費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | |
|---------|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | 令和4年度までは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としていたが、令和5年度より再開した。例年グラウンドゴルフを競技として行ってきたが、競技人口も減少してきており、今後については競技種目の検討や実施時期の見直しなど検討が必要。 |
| C | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | グラウンドゴルフの競技人口が減少してきているため、競技種目の変更や実施時期を見直す等改善の上継続すること。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | 青少年教育・成人教育 | | | | |
| ねらい | 地域の多様な人材、企業等に参画していただき、学校では経験できないような体験事業を年間を通じて開催することで、青少年の「生きる力」を育むとともに、町民の主体的なまちづくりへの意識を醸成する。 | | | | |
| 事務事業名 | おくしりチャレンジスクール | | | | |
| 事業実施日 | 5/13(日)、6/10(土)、7/29(土)～7/30(日)、10/21(土)、12/16(土)、2/17(土) | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | (主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 学校支援ボランティア登録企業・機関・団体 |
| 事業開始年度 | 平成29年度～ |
| 目的 | ・地域全体で子育てを支援する気運の醸成 ・青少年の生きる力を育む ・地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等の構築 |
| 事業概要 | ・年に7回、地域の資源や人材を活用し、様々な体験事業を開催する。(うちスキー教室は雪不足のため中止) |
| 対象者 | 幼稚園児・小学生・中学生・高校生・保護者 |

3.実施状況(継続事業を除く)

| 数値で表せる指標 | ファミリーフィッシング | おくしり自然塾～探検編～ | おくしり自然塾キャンプ編 | スキー教室 | 羊毛で動物を作ろう | 初めてのお茶教室 | お菓子作りって楽しいね |
|----------|-------------|--------------|--------------|-------|-----------|----------|-------------|
| 参加者 人 | 59 | 35 | 3 | - | 20 | 15 | 30 |
| 予算支出 千円 | ファミリーフィッシング | おくしり自然塾～探検編～ | おくしり自然塾キャンプ編 | スキー教室 | 羊毛で動物を作ろう | 初めてのお茶教室 | お菓子作りって楽しいね |
| 社会教育総務費 | 0 | 8 | 41 | 0 | 0 | 23 | 42 |
| 謝金 | | | | | | | 18 |
| 報償費 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 食糧費 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 | 7 | 21 |
| 消耗品 | 0 | 8 | 29 | 0 | 0 | 16 | 3 |
| 旅費 | | | | | | | |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | |
|----------|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | それぞれの事業の反省を生かし、継続していくべき事業を続けていく一方で、子どもたちや地域のニーズを探りながら新たな資源を活用した事業の立ち上げも検討していく。 |
| B | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 C 改善の上継続 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | 青少年教育・成人教育 | | | | |
| ねらい | 図書室の取組による読書活動の推進及び図書室利用者増加。 ボランティアによる町民の主体的な町づくり意識の育成。 | | | | |
| 事務事業名 | うみいろC a f e | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年11月18日(土) | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | (主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 読みきかせ団体「おはなしの会うみいろ」・図書ボランティア |
| 事業開始年度 | 平成28年度～ |
| 目的 | 図書室をカフェとして開放することをとおして、気軽に図書室を利用してもらい、奥尻町海洋研修センター図書室を知ってもらうと共に、日常的な利用者増加を図る。 |
| 事業概要 | 一日だけ図書室をカフェとして開放するとともに、読みきかせや自由工作などのイベントを行う。 |
| 対象者 | 一般町民 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加者 人 | 170 | 0 | 100 | 69 | 50 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 社会教育総務費 | 23 | 0 | 19 | 17 | 18 |
| 報償費 | | | | | |
| 食糧費 | 21 | 0 | 19 | 17 | 18 |
| 消耗品 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | | | |
|--|---|---|---|--|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">ランク</td> <td>年に一度の海洋研修センター図書室で行うカフェ事業。児童数の減少から令和4年度より参加者は減少したが、「おはなしの会うみいろ」の協力の下、町民同士が交流しつつ本に親しめる貴重な機会であり、今後も図書室利用拡大に向け継続すべき事業である。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td> </td> </tr> </table> | ランク | 年に一度の海洋研修センター図書室で行うカフェ事業。児童数の減少から令和4年度より参加者は減少したが、「おはなしの会うみいろ」の協力の下、町民同士が交流しつつ本に親しめる貴重な機会であり、今後も図書室利用拡大に向け継続すべき事業である。 | B | | |
| ランク | 年に一度の海洋研修センター図書室で行うカフェ事業。児童数の減少から令和4年度より参加者は減少したが、「おはなしの会うみいろ」の協力の下、町民同士が交流しつつ本に親しめる貴重な機会であり、今後も図書室利用拡大に向け継続すべき事業である。 | | | | |
| B | | | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 千嶋 将寛 |
| 領域 | 青少年教育・成人教育 | | | | |
| ねらい | 親子の健やかな成長の促進、家庭を見守る地域の支援体制作り 家庭・地域の連携による子どもの読書活動の推進 | | | | |
| 事務事業名 | ブックスタート | | | | |
| 事業実施日 | 5月26日（金）、9月29日（金）、1月26日（金）（町乳幼児検診と合わせて実施） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | （主催）奥尻町教育委員会 （協力）読みきかせ団体「おはなしの会うみいろ」・図書ボランティア |
| 事業開始年度 | 平成28年度～ |
| 目的 | 子どもたちの心の健やかな成長を願い、乳幼児期より絵本を媒体として親子のコミュニケーションを豊かにし、子どもと保護者の心の健康作りと地域における子育てを支援する。 |
| 事業概要 | 初めての乳幼児検診時にすべての赤ちゃんと保護者に読みきかせをしながら絵本を手渡す。 |
| 対象者 | 初めての乳幼児検診対象者とその保護者 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 参加者 人 | 13名 | 12名 | 6名 | 3名 | 7名 |
| 予算支出 千円 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 社会教育総務費 | 17 | 15 | 16 | 8 | 8 |
| 報償費 | | | | | |
| 食糧費 | | | | | |
| 消耗品 | 17 | 15 | 16 | 8 | 8 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|---|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 本をプレゼントすることで、本とふれあう機会が増える。本事業を通じて家庭と行政のつながりを深める機会として重要な取り組みであり、継続していくべきだと考える。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | | |
|-------|--------------------|------|------------------------|------|----|---------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局子ども支援係 | | 事務局長 | 羽立 仁 | 担当 | 佐々木 志穂美 |
| 領域 | 発達支援 | 施策内容 | ICT教育機器を活用し、教育の質向上を図る。 | | | |
| 事業名 | 子ども発達支援センター運営事業 | | | | | |
| 事業実施日 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 令和5年度～ |
| 目的 | 対象児童への個別療育指導及び発達支援体制のコーディネート等を実施することで、子ども発達支援センター事業の充実を図る。 |
| 事業概要 | 個別療育指導及び外部機関からの講師招聘等により発達支援を実施する。 |
| 対象者 | 町内通園希望者 |

3.実施状況

| 指標 | 令和5年度 | | | |
|-------------|-------|--|--|--|
| 利用者数 人 | 8 | | | |
| 幼稚園児 | 2 | | | |
| 小学生 | 6 | | | |
| 決算額 千円 | 令和5年度 | | | |
| 発達支援センター運営費 | 6,737 | | | |
| 報酬 | 4,214 | | | |
| 職員手当等 | 863 | | | |
| 報償費 | 202 | | | |
| 旅費 | 495 | | | |
| 需用費 | 758 | | | |
| 役務費 | 123 | | | |
| 備品購入費 | 68 | | | |
| 負担金 | 14 | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | B |
| | <p>発達に不安がある乳幼児を乳幼児健診から切れ間なく支援することで、町内で安心して子育てできる環境を提供できている。また、就学時には各学校と連携し引継ぎを実施することで、学校においてもスムーズな受け入れが可能となっているため、今後も継続して実施する。</p> <p>機構改革により令和5年度から子ども支援係が教育委員会所管となり追加となっている。</p> |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> C 改善の上継続 <input type="checkbox"/> D 事業の縮小 <input type="checkbox"/> E 休廃止の検討 <input type="checkbox"/> |
| 論評 | 評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。 |